

## 第 83 回淀川水系流域委員会への個人意見

### 【進捗点検評価の基本的な考え方と評価基準について】

淀川水系流域委員会委員 竹門康弘

淀川水系流域委員会による河川整備の進捗点検結果に対する評価や意見形成の進め方について、以下のように提案します。

#### 進捗点検評価の目的

進捗点検の目的は、淀川水系の河川整備基本方針、河川整備計画の基本的な考え方や理念に則して事業が進められているかどうかを点検することにある。淀川水系流域委員会には、これまでの意見や提言を踏まえて河川整備が適正に実施されているかどうかをチェックし、計画段階で策定された各種対策の改善を促すという使命があると考えます。また、これら進捗点検のチェックは、PDCA サイクルによる順応的管理を実現するための歯車の一環に位置づけることが理想であろう。

#### 進捗点検評価の基準

平成 15 年の「新たな河川整備をめざして-淀川水系流域委員会提言-」で示され、「基礎案」、「原案」、「(案)」に一貫して明記されてきた基本理念を柱として評価の基準を明確化することが妥当であろう。ただし、「淀川水系河川整備計画策定に関する意見書」に掲げられた 4 項目の見解（洪水対策、水需要管理、環境、総合的管理）については、これまでの計画案に不足していると判断された課題であり、淀川水系流域委員会としては、今後の進捗点検評価に際しても評価のための基準に加えていくべきであろう。進捗点検評価のための具体的項目については、それらを併せて以下 5 つの項目ごとに、評価の方法も含めて整理検討するのがよいだろう。

- 1) 環境理念：健全な生態系の回復のために「川が川をつくる」のを手伝う
  - 固有性・歴史性の尊重
  - ダイナミズムの再生
  - 河川の連続性の確保
  - 流域視点に立った水質対策
  - 流域的視野の環境影響評価
  
- 2) 治水理念：氾濫による壊滅的な被害を減少させることをめざす
  - 堤防決壊に備えての避難体制の整備
  - 河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制と分散対策
  - 堤防の強化

- 3) 利水理念：節水型社会をめざして水需要管理や水融通を進める  
水需要管理の推進  
水利権転用による水融通の推進
  
- 4) 利用理念：「川でなければできない利用，川に活かされた利用」をめざす  
川と人のつながりを深める  
歴史と風土の尊重  
河川利用のニーズを踏まえる  
住民・市民参加を推進する  
情報の共有を推進する
  
- 5) 統合的流域管理の理念：治水・利水・環境の統合的管理の実現  
河川を拡げる対策  
総合的な治水対策  
流域総合土砂管理  
PDCA サイクルを動かす仕組みづくり

各種委員会・協議会による評価との役割分担

河川整備の目標達成度を的確に評価するためには，淀川水系流域委員だけではカバーしきれない幅広い専門家の検討を要するので，既存の各種行政委員会や新たに設置される各種協議会等による評価を求めるのも良いだろう．淀川水系流域委員会は，それらの各種団体による評価結果に基づいて総合的な判断を行なう場に位置づけられる．

以上，今後の審議の材料としていただければ幸いです．